

地域おこし協力隊(大学連携コーディネーター)を募集します！



地域と大学をつなぐお仕事です

飯田市へは全国のいろいろな大学から、たくさんの学生・研究者が調査研究に訪れます。

大学がどんな分野の関心を持っているかを聞き取り、ユニークな取り組みをしている飯田の人々を紹介し、フィールドスタディなどのイベントを開催して出会いをつくれます。

大学は知見・情報を蓄積して飯田市の取り組みへ還元し、地域の人々は価値の再発見から地域への愛着が高まります。

大学生が飯田に魅力を感じ、飯田の人々と仲良くなって、何度も友人や家族を連れてきてくれたり、進学や就職で一度離れた若者が生活の拠点として戻ってきたくるような、飯田の魅力を見つける場所を一緒につくってください。

主な活動内容は次のとおりです

(1) 大学生などのフィールドワーク受け入れ

・「こんなことを調査したい、学びたい」という大学について、その道に詳しい市役所の部署・法人・個人で立ち上げた社会貢献グループ等を調べ、大学を受入れて、学習・研究する場を作ります。

・現在、飯田市役所で行う大学合同のプログラムもいくつかあります。事務局と一緒にそのプログラムの一部を担当し、大学の先生方や講師の方と話しあい、学習・研究のためのコースをつくって運

営します。当日は学生たちとともに行動し、飯田の魅力を一緒に感じてください。

・学生たちが学ぶ様子、何か発見をして成長する瞬間、地域の皆さんたちの姿など、仕事をする中で生まれる感動的なシーンを切り取って、インスタグラムで発信するなど、多彩なアイデアで情報発信します。

(2) 高校生との対話から事業を組み立てる

- ・飯田駅前にある公民館が入った複合施設「ムトスぷらざ」に、高校生が自由に出入りできる「XR 室」があります。放課後の高校生とふれあい、日頃彼らが何を感じ、考えているかをくみ取ってください。
- ・高校生の探究学習に大学生がサポートし、大学ではどういった学び方をするのかを経験してもらう「いいだ高校生 ESD 塾」という取り組みがあります。その事務局として塾を企画運営していきます。

まずは！

- ・飯田市の大学連携業務を補助していくなかで「つなぎ役」とはどのようなものか、イメージをつかもう。
- ・いくつかのカリキュラムの責任者となり、飯田市の業務の中で仕事を回してみよう。
- ・業務をしていく中で自分の資産価値を発見 or 再確認！
- ・飯田市と関わり続ける若者を育成していく。（関係人口の増加）
- ・ネットワークを活用して地域の課題を解決する事業に取り組む。

任用後になにが出来そう？ たとえば・・・

- ・大学生が集う場、宿泊施設を管理する業務 → 独立採算できるようにそこを運営していく。
- ・行政が実施するカリキュラムを経験していく中で、行政などから業務を受託する中間支援組織を立ち上げ、運営していく。
- ・行政の枠組みではできない「もっと自由度の高くて面白いものができるか」を考える。高付加価値化→お金を生み出す。

そのために

- ・大学や地域での出会い、そこから交流を深め、ネットワークを広げていく。（自分の資産価値を売り込む！）
- ・出会いの中から生じる、理想のチャンス・想定外のチャンスから、自分のやりたいことを見つけて、ブラッシュアップさせていく。
- ・大学・地域のキーマン・行政・企業・卒業した大学生などから、支援してもらえるネットワークを創出していく。

処遇等についてはウェブサイトの募集要項をご覧ください。ご応募お待ちしております。
お問い合わせや活動の様子を見学等、お気軽にご連絡ください。

飯田市大学誘致連係推進室
担当：森下、宮澤
電話：0265-22-4511（内線 2251）
e-mail:idaigaku@city.iida.nagano.jp



ご相談は応募期限後でも可能です。
ご連絡お待ちしております！

飯田市ウェブサイト URL
（大学連携コーディネーター募集）